

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H29. 4. 28

「人権推進校」の指定を受けて

校長 楯 明夫

4月22日、授業参観、PTA総会への多数の参加ありがとうございました。子どもたちの姿はいかがだったでしょうか。子どもたちの前向きな気持ちを感じられ、意欲的な姿がたくさん見られたと思っています。

新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。新しいクラスにも慣れ、自分の学級での役割も得て、委員会、係の活動が活発になってきました。4月26日には、共栄小学校が平成29年度の人権推進校に指定され、その指定書（右写真）を法務局の芝田多治見支局長さんからボランティア委員長の★★★★さんと副委員長の★★★★さんが代表として受け取りました。★★さんは、委員会活動を通して「優しい気持ちを広げるために花を育てます。」と語ってくれました。その素敵な言葉は、参加した大人たちを心強くさせてくれました。



人権推進校の役割は、人権の花を育てることを通して命の大切さを考え、思いやりの心を広げていくことです。こうした機会をいただいたことを大切に思い、人権について考え、人権感覚を子どもたちと共に磨いていけたらと強く思いました。

人権感覚とは、以前学んだことですが、歴史の中で人類が勝ち取ってきた一人一人がもっている自由、平といった人権を守っていくことが大切であるということ。そして、人権が守られている状態を素晴らしいことだと感じることや反対に、これが守られていないという状態を許せないとするような感覚なのだそうです。例えば「いじめ」「暴力」「暴言」「無視」といった行為を「駄目だ」と思える感覚、逆に、思いやりのある言動に素晴らしいと思える感覚を本物にしていくことが大切だと思っています。

5月は、良い事実を積み上げる時期でもあります。「挨拶を元気に行う」「掃除に一生懸命取り組む」「下足箱を率先して整頓する」「宿題を欠かさず提出できる」等々、学校ではたくさん見られると思います。たくさんの温かな言葉が飛び交うチャンスです。反面、5月は心配な月でもあります。「5月病」という言葉があるように、4月頑張りすぎてエネルギー切れを起こしたり、仲間と自分の差を感じて落ち込んでしまったり、連休の過ごし方で生活リズムを崩してしまったりといったことが起こりがちになります。人権感覚を大切にしながら、子どもたちのひとりだちを願って、励ましていきたいものです。ご家庭でも4月の頑張りをおおいに認め、誉めてあげてください。きっと子どもたちの大きなエネルギーにつながります。